

基本目標 21世紀に生きる心豊かな人づくり

～自ら学び ともに磨き合い 地域（シマ）を興す人づくり～

- 1 学ぶ意欲をもち、豊かな自己実現を目指して生涯を通じて学び続ける人づくり（物事（むん）の知り果てや無（ね）む）
- 2 広い視野をもち、社会の変化に柔軟に対応しながら未来の創り手として地域の発展に貢献する人づくり

本町では、平成27年に瀬戸内町教育課程大綱を策定し、「21世紀に生きる心豊かな人づくり」を基本目標に掲げ、人間性豊かで「ストグレ魂」をもち、たくましく生きる町民の育成のため、活力ある教育を推進してきました。「ストグレ魂」とは、何事にも折れない強い心を表します。

これから社会が大きく変革する中であって、子どもたちのみならず、町民一人一人が、それぞれの夢や希望をもち、自己実現に向けて豊かな経験を積み重ねる環境を整えていくことが重要です。

夢や希望、目標の実現には、他者と共生するための思いやり、優しさ、感謝の心、規範意識や倫理観などの豊かな人間性を育てていく必要があります。また、新しい課題に自ら挑戦する気持ちや困難に立ち向かい、乗り越える気概や粘り強さ、つまり、「ストグレ魂」を育てていく必要があります。

教育基本法第1条で規定された、「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない」という教育の目的を踏まえ、未来の瀬戸内町、鹿児島、日本を担い、未来の創り手となる人材の育成を進めていく必要があります。

このようなことを踏まえ、瀬戸内町教育振興基本計画では、基本目標を「21世紀に生きる心豊かな人づくり～自ら学び ともに磨き合い 地域（シマ）を興す人づくり～」とします。

本町は奄美大島の最南端に位置するという地理的条件から、大島海峡のリアス海岸に天然の良港が点在する海上交通の要衝、海に開いた町として発展してきました。近年では温暖な気候や海洋資源を生かした水産業や農業、また、様々な体験を提供する観光業など高付加価値の産業振興にも注目が集まっています。

本町の教育的資源を活用しながら「学ぶ意欲をもち、豊かな自己実現を目指して生涯を通じて学び続ける人づくり」、「広い視野をもち、社会の変化に柔軟に対応しながら未来の創り手として地域の発展に貢献する人づくり」のための教育を推進していきます。